

平成30年第4回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

9月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

9月15日、震災後3回目となる「双葉町敬老会」をいわき市植田町のやまたまやで開催し、県内外から多数の方々に参加いただきました。式典では、284名の出席者を代表して94歳になられた佐藤正弘さん(郡山)へ記念品を贈呈いたしました。また、13組の金婚夫婦のうち、出席された9組のご夫妻に、福島民報社から表彰状と記念品が贈られました。式典後は、昼食交流会が行われ、久々の再会を喜び合っていました。また、お笑い芸人のステージが行われ、出席された皆さんは楽しいひとときを過ごされていました。

9月16日、「第12回市町村対抗福島県軟式野球大会」が須賀川市牡丹台球場において開催され、10月13日には「第5回市町村対抗福島県ソフトボール大会」が相馬光陽ソフトボール場で開催されました。選手の皆さんの復興への願いが込められた元気いっぱいのプレーに勇気づけられたところです。

9月25日、「中野地区復興産業拠点への立地協定締結式」をいわき事務所で行いました。2件目となる今回は、震災前まで町内で事業を行っていた双葉住コン株式会社と、大林道路株式会社による共同企業体との協定となります。引き続き中野地区復興産業拠点への立地協定の締結に向け取り組んでまいります。

9月30日、双葉町と環境省との合同による「双葉町特定復興再生拠点区域内の除染・解体工事等に係る説明会」を郡山市といわき市で開催しました。両会場合わせて123名の方々に参加いただきました。今後とも、拠点区域内の除染、インフラ整備など、国、県と連携し進めてまいります。

10月6日、Jヴィレッジにおいて、震災後2回目となる町民体育祭に代わるスポーツイベント「ふたばスポーツフェスティバル2018」と、昨年度に引き続き公益財団法人日本オリンピック委員会主催の「オリンピックデー・フェスタ in ふたば」を合同で開催しました。オリンピックメダリストを含む7名のオリンピックアンに参加していただき、5チームに分かれて、手つなぎ鬼や小玉回し、玉入れなどの競技で汗を流し順位を競いました。参加者の皆さんは、オリンピックと触れ合いながらスポーツを通じて心身のリフレッシュを図り、参加者同士の交流を深めていました。

このスポーツイベント開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

10月11日から11月17日にかけて、福島県内外11会場で町政懇談会を開催し、約300名の方々にご出席いただきました。今回の町政懇談会では、まず私から、町内の復興の取り組み状況について報告した後、教育長より双葉町の教育行政について、担当課長より避難指示解除に関する考え方（素案）、双葉町特定復興再生拠点区域内の除染・建物解体、平成30年度住民意向調査について説明を行いました。懇談会では、町民の皆さんから特定復興再生拠点や建物解体、原子力損害賠償など町政全般について、数多くのご意見、ご要望、ご質問等をいただきました。今回の懇談会で出されたご意見等を、今後の町政運営に反映させるべく検討してまいります。

10月11日、12日の両日、郡山市ビッグアイで、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催の「第31回双葉町総合美術展」及び町主催の「第5回双葉町民作品展覧会」が開催されました。町民の皆さんの力作274点が展示され、また、今回は友好町である京都府京丹波町の芸術作品ブースを設けました。多くの町民の皆さんが会場を訪れ、素晴らしい芸術作品を鑑賞するとともにお互いの再会を喜び合っていました。

また、10月27日、28日の両日、勿来地区文化協会のご支援により、勿来市民体育館で開催された勿来地区総合文化展会場において、「第5回双葉町民作品展覧会」を開催しました。町立小・中学校の児童生徒を初め、いわき市、加須市などから町民の皆さんの作品が出品され、勿来地区の皆さんとの文化交流を図りました。

10月27日、町立幼稚園・小・中学校による「梅檀祭」が、仮設校舎体育館において開催されました。子どもたちのせんだん太鼓の演奏から始まり、総合的な学習で取り組んだじゃんがら念仏踊りの発表や、子どもたちが一生懸命練習を重ねた創作劇、合唱などが発表され、参観された皆さんに大きな感動を与えました。

11月3日、いわき事務所において、「平成30年度表彰式」を挙行政いたしました。式では、1名と1団体の方に善行表彰を、23名と6団体に感謝状をお贈りいたしました。町の復興と避難者支援、町民の健康管理や絆の維持のためにご尽力いただいた方々に心から感謝の意を申し上げますとともに、双葉町の復興に向けて、今後とも一層のご尽力とお力添えをお願い申し上げます。

1 1月6日から8日まで、双葉町の友好町である京丹波町から太田昇町長と3名の職員が双葉町を訪問されました。

初日は町立学校を視察された後、いわき事務所で意見交換を行いました。2日目は特別養護老人ホーム「せんだん」や復興公営住宅勿来酒井団地を視察されました。また、Jヴィレッジに立ち寄った後、双葉町内に入り被災の現状と復興の状況を見ていただきました。京丹波町とは今後とも両町が息の長い交流を続けていくことを約束いたしました。

1 1月10日、「平成30年双葉町消防団検閲式」を町立学校仮設校舎体育館において挙行いたしました。全国各地から、石井消防団長をはじめ27名の消防団員が参加し、根本訓練分団長の総指揮のもと、閲団と通常点検が行われました。今年は地震や台風などによる自然災害が多発しており、消防団は災害対応の第一線であり、地域消防の中核であることを、あらためて認識したところです。

1 1月10日から12日の3日間、京丹波町社会教育委員と双葉町社会教育委員の交流事業を京丹波町において実施いたしました。双葉町から7名が参加し、それぞれの活動状況報告のほか、今後の交流事業などについての意見交換が行われました。また、訪問した3日間にわたり「京丹波町文化祭2018」が開催されており、双葉町民の芸術作品特別展のブースが設けられ、作品14点が展示されました。

1 1月18日、「第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」が開催されました。選手の皆さんは、大会を前に2回にわたる合宿を行い、チームワークを高め、当日は心をついに大会に臨みました。体調不良の選手が多いなか、棄権することなく最後まで完走しました。選手の頑張りや、町民の皆さんに、元気と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援していただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

1 1月24日、安倍晋三内閣総理大臣が双葉町の中野地区復興産業拠点と双葉駅前の特設復興再生拠点を視察され、私から双葉町の復興の現状と課題について説明するとともに、国の対応を強く求めました。

視察後、安倍首相からは「復興・創生期間後も福島の復興が成し遂げられるまで国が前面に出て、全力を尽くす」との力強い決意を述べられ、町としても、今後の復興・再生に意を強くしたところです。

さらに、12月7日には、平成31年度国の予算案決定に向けて、町民の皆さんの生活再建策の充実と町の復興・再生の加速化、さらに復興財源と国の支援体

制の長期的な確保などの重点課題について、復興庁を始めとする関係省庁に対し要望活動を行いました。

11月27日、復興シンボル軸として位置付けられている、県道井手長塚線、県道長塚請戸浪江線の起工式が双葉町大字中野地内で行われました。

復興シンボル軸は（仮称）双葉インターチェンジから県道広野小高線までの全長7.1kmを整備するもので、町への人の流れを強化するとともに、各拠点を有機的に結び付ける町の復興に重要な役割を果たす道路となるものです。平成32年（2020年）の暫定供用、平成34年（2022年）の全線完成を目指し整備が進められます。

最後に、本定例会に提案いたしました案件について申し上げます。報告が1件、条例の廃止が2件、条例の一部改正が8件、土地の取得が1件、土地の売払いが1件、補正予算（案）が4件、合わせて17件となりますので、慎重なるご審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。